

概要	○ 令和6年12月28日（土）、茨城県結城郡八千代町に所在する採卵鶏の農場（約108万羽）において鳥インフルエンザの疑いが発生し、翌29日（日）、検査の結果、鳥インフルエンザ陽性が確定。 ○ 29日（日）1205、陸上自衛隊施設学校長（勝田・茨城）は、茨城県知事から鶏の殺処分等の支援に係る災害派遣要請を受理。 ○ 同日1758より、陸上自衛隊第1施設団（古河・茨城）を主力とする隊員が殺処分等に係る支援を24時間態勢で実施。
活動部隊	○ 陸上自衛隊：第1施設団（古河・茨城）、施設学校（勝田・茨城）、武器学校（土浦・茨城）
活動態勢	○ 隊員約200名がローテーションにより、24時間態勢で実施。 ○ 約108万羽のうち、自衛隊は発生鶏舎及び隣接鶏舎の約32万羽を担当。
活動内容	○ 鳥インフルエンザが発生した養鶏場における殺処分支援 等

位置関係

【凡 例】

● : 活動地域

● : 駐屯地

陸上自衛隊
施設学校
(勝田駐屯地)

約62km

陸上自衛隊
第1施設団
(古河駐屯地)

約33km

陸上自衛隊
武器学校
(土浦駐屯地)

約15km

発生農場
(茨城県八千代町)

活動写真（イメージ）

活動準備